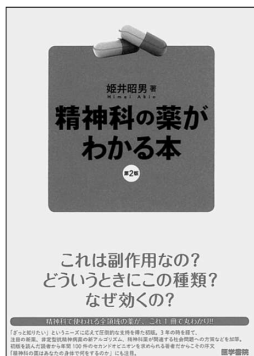


今月の3冊プラス1



精神科の薬がわかる本 第2版

著：姫井昭男 発行：医学書院 TEL.03-3817-5657
定価：2100 円(本体 2000 円+税 5%)

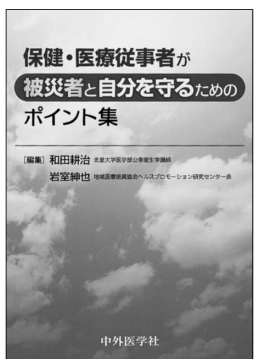
2008 年の初版発行から 3 年が経った。注目の新薬、非定型抗精神病薬の新アルゴリズム、精神科薬に関連する社会問題への方策などを加筆。内容は、①「抗うつ薬」がわかる、②「睡眠薬」がわかる、③「抗精神病薬」がわかる、④「抗てんかん薬」がわかる、⑤「老年期に使う薬」がわかる、⑥「その他の精神科の薬」がわかる、で構成されている。患者から多く受ける質問も Q&A として各章にまとめられているため、質問をされた際に説明するポイントを押さえることができる。薬理の説明もあるので、より詳しく知りたい方も○。



《看護ワンテーマ BOOK》 見てできる 褥瘡のラップ療法

編著：水原章浩 発行：医学書院 TEL.03-3817-5657
定価：1890 円(本体 1800 円+税 5%)

「看護ワンテーマ BOOK」創刊 3 冊のなかの 1 冊。治療効果がよく、処置も簡単で低コストなラップ療法。2010 年には日本褥創学会理事会において条件つきで容認された。本書は「ラップ療法を実際に施行する看護師、介護者の目線で、ラップ療法をわかりやすく解説する」ことを趣旨とし、①ラップ療法の基本的な手技、手順はどのようなものか、②薬剤を含めた既存の治療法と、ラップ療法をどう使い分けるのか、③医療品でない食品用ラップなどを用いる際に注意すべきことは何か、といった質問に答える 1 冊である。



保健・医療従事者が被災者と自分を守るためのポイント集

編：和田耕治、岩室紳也 発行：中外医学社 TEL.03-3268-2701
定価：1890 円(本体 1800 円+税 5%)

東日本大震災において、今後も派遣などで被災地に赴く保健師は少なくないだろう。本書は「これから現地に入る医療従事者が知っておきたいエッセンスを短時間で学ぶこと」を目的としている。①災害に関する総論的知識、②被災者の安全や心身の健康および感染症予防策、③医療従事者、ボランティアの健康を守るための対策や知識、④これから支援に入る人へのアドバイス、⑤やがて起こりうる新たな災害直後の対応、の 5 章で構成されているが、「個別の対応については現場の担当者とはよく相談」することが必要となる。



大局観 自分と闘って負けない心

著：羽生善治 発行：角川書店(角川 one テーマ 21) TEL.03-3238-8521
定価：724 円(本体 680 円+税 5%)

将棋をあまり知らなくても、「羽生さん」の名前と顔を知っている人は多いだろう。本書は「棋士生活 25 年と満 40 歳のまとめ」として執筆されたもので、将棋をとおして氏の考え方を垣間見ることができる。「将棋を取り巻くトレンドにどれだけ大きな変化があったとしても、基本的に、我々棋士達がやるべきことは変わらない」とは、周りの状況に振り回されがちなわれわれにとっても 1 つの指針となりうるのではないだろうか。